

ある。なお、天日干し等を行い、一部汚泥の処理も含まれている。

問 11月に水を抜くとのことだが、なぜ11月なのか。

答 魚を移動する必要がある、寒い時期でないといふ魚が弱ってしまうとの専門家の意見も踏まえたものである。

令和8年度行田市公共下水道事業会計予算

問 ウォーターPPP導入の現在の検討状況を伺いたい。

答 現在、導入可能性調査を実施しており、令和8年度は、これを踏まえ、詳細なスキームや委託する業務範囲の検討、事業者へのアンケート調査、個別ヒアリング等を行い、事業者が持続的に参画しやすい環境の整備や、実施方針案の策定、導入効果の評価を実施する予定である。

健康福祉常任委員会

〇行田市学童保育室保育料に関する条例の一部を改正する条例

問 学童の開室日数に応じて保育料を設定することだが、周知方法を。

答 市報や市ホームページ、学童保育室へのポスター掲示等を通じて周知を図っていく。

問 長期休業期間中はどの学童

保育室を利用できるのか。

答 夏休みの募集は6月頃に行っているが、募集は空きのある学童で行っており、空きのない学童では募集をしていない。また、夏休み以外の長期休業期間については、募集はしておらず、問い合わせがあった場合のみ対応している。

問 条例の施行日が令和8年7月1日付けとなっている理由は。

答 3月27日から4月7日が春季休業期間となるが、4月1日施行すると、3月と4月の保育料に差異が生じ、利用する保護者の混乱を招く恐れがあること、また、条例内容の周知期間を設けるため、7月1日施行としたものである。

令和8年度行田市国民健康保険事業特別会計予算

問 令和8年度から法定外繰入れをゼロにするが、実際に繰入れをしなければならぬ状況は起こり得るのか。

答 令和7年度の繰越額次第となるが、仮に足りない場合は、一般財源からの繰入れを行うか、県から無利子での借入を検討することとなる。

問 未就学から小中高生までの子どもの均等割を軽減している自治体があるが、このような議論はしている

のか。

答 均等割を軽減している県内自治体は6市6町あると認識しているが、本市の国保財政は厳しい状況にあるため困難である。今後とも、軽減措置等の拡大について国に要望していく。

令和8年度行田市一般会計

〇5歳児健康診査事業及び5歳児健康診査後フォロー事業

問 5歳児健康診査の意義と就学時健診との違いは何か。

答 就学時健診は、小学校の就学に向けて教育委員会が実施する健診であるが、5歳児健診は、母子保健法に基づき市町村での実施が推奨されている健診である。社会性が発達してくる5歳の時期に、集団での行動観察等を行い、子どもたちの発達特性を把握し、早期に必要な支援につなげていくことを目的としている。

問 5歳児健診において専門家の協力は何を得られるのか。また、健診後のフォローはどのようなものか。

答 5歳児健診の実施にあたり、小児科の医師、臨床心理士、保健師、保育士、看護師、管理栄養士等の専門家がそろった事業所への委託を考えている。健診後のフォローについては、心理士による発達相談を行う予

定で、現在も実施している幼稚園・保育園巡回相談や心理発達相談への案内のほか、教育支援センターとの連携などを直営で行っていく予定である。

〇ヤングケアラー支援

問 ヤングケアラー実態調査の結果は。

答 小学5年生から中学3年生までの1927人から回答があり、このうち「家事やお世話をどのように感じているか」という設問に対し、「身体や心がつらい」と回答した16人の子どもが支援の必要なヤングケアラーではないかという結果となった。

問 16人に対する支援の方針は。

答 2月中に小・中学校の校長及び教頭に報告し、学校側から面談等により様子をみてもらい、必要に応じた支援方法を検討していきたい。

